

## 地域包括ケア専門職“絆”研修第9回 ①病院から在宅へ「退院支援」

〈日 時〉 令和6年7月21日(日)



(スタッフ集合写真)

### 7, スタッフの振り返り

#### 1. 良くできたと思うこと、このままやっていこうと思うこと

【ファシリテーター】

- ・参加者の方は、自分の知りたいことを自由に話しがちだが、今回の研修の目的からそれないように修正するというファシリタの役割ができたと思う。
- ・参加者の研修への期待に添いつつ、研修の全体の目的を常に念頭に置いて参加者が満足して次も参加してもらえるようにしていきたいと思った。
- ・ポストイットを使用しているグループワークは、発表しやすいと思う。このままやってもいいと思う。
- ・参加者に大きな声で話すようしながら行えたこと。

- ・いつもより出席者が多いため、自分のグループメンバーを把握しやすいように即席で席次表を手書きで作成。メンバーの氏名、職種が把握しやすかった。導入のアイスブレイキングの時点で和やかな雰囲気作りができた。皆さん笑顔でグループワークができていた。
- ・席が多い為、遠くに座っている方へ声が届きにくかったが、机に置いてあるグループワークのルールの把握を促してからは皆さん大きな声で話されるようになっていた。
- ・GW2の時に発言に困っておられる方があり、ワークシート等のページを再度お伝えし参考にして発言していただく事ができた。
- ・全員がまんべんなく発言していただけたこと。
- ・発言されている方を見て相槌をうち、話しやすい雰囲気づくりに心がけたこと。
- ・席から移動して発言を聞く際、かがんで聞くようにしたこと。
- ・ファシリは初めてではあったが、グループメンバーが研修の進め方で戸惑うことなく、スムーズに研修を進めることができた。
- ・これまでより全体をみながらグループをコントロールすることができたと思う。
- ・グループメンバーの方々が、最初はあまり発言したり、役を引き受けることに対し受け身だと感じたが、きっかけがあれば積極的になって下さり助けられた。メンバーのその人らしさを引き出す距離感についてもっと上手に関われるように考察を深めたい。
- ・堅苦しくない雰囲気作りに努めてみた。

#### 【プレゼンター】

- ・ざわめき声のグループを取り入れることができた。足立先生・ファシリの方々から、会場に投げかける内容、発表の当て方、グループ作りの方法など、多くの項目にアドバイスをもらったのは良かったと思う。

#### 【事務局】

- ・初めての参加者が多い中、活発な意見交換が行われ、楽しそうに研修を受けられていた。
- ・ファシリテーターの介入。スムーズで困った時や流れが止まりそうな時のサポートがそれぞれのグループで見られた。
- ・研修会開始前の当日打ち合わせで当日の流れを再度イメージできたこと。また終了後の振り返りでもすぐにフィードバックし合えたこと。また終了後の振り返りでもすぐにフィードバックし合えたこと。
- ・受付2人体制がスムーズ
- ・会場準備を前日までに行っておくこと。

## 2. 今後努力を要すること、やり方を変えてみようと思うこと

#### 【ファシリテーター】

- ・カンファレンス時の役を選んでもらう時が難しいと感じた。なるべく難しい役にはなりたくないこと、経験したことがないではなく、知らない役にはなれないこと、介護職の参加が少なくバランスが悪いことなどが原因になっていると感じる。

- ・今回は2役をしてもらったが、8人とグループの人数が多く、ほぼ1役分しか話ができなかった人のほうが多かったことが反省。
- ・模擬カンファレンス時のヘルプは挙手をして、ファシリに質問できる体制も検討(模擬カンファレンス中に、役のことで質問があり中断してしまったことがあった。今後マナーとしてあっても良いかと感じた。)
- ・司会・発表者を決めるに自主的に手挙げがあったので良かったが、誰も立候補がなかった場合の決め方を予め考えておいた方が良かったかと思った。
- ・グループワーク②の役割決めはすんなり決まったが、MSW・CM・Ns 役が誰もいなかった。キーとなる職種は必ず誰かに担当してもらおう声掛けをしておくべきだった。MSW 役に決まった方が上手くグループの意見を引き出してくださっていたので、意識的に1歩下がってみようようにしていたが、1人に負担をかけすぎてしまったように感じた。
- ・役決めに時間がかかる場合はこちらから指名するのではなく、誕生日が近い人にやってもらう。等の押し付けられる感が強くない方法にしようと思う。
- ・GW1の時、今回はポストイットに直接記入していただくよう最初に助言したが、1枚に1つの案を記入していただく依頼を今回もし忘れており、1名の方が1枚のポストイットに複数の会議に参加したほうが良い方を記入しておられた。次回こそ声かけを忘れず行いたい。
- ・GW2カンファレンスの振り返りの際、ポストイットや記録用紙を活用していただく声かけをしなかったため、皆さんがスタートと同時に意見を述べはじめた。そのため、途中から発表担当の方がポストイットに記入し、用紙に貼り付けていた。皆さんへの声かけの工夫が必要だと感じた。
- ・グループ発表の際、発表者が模造紙も持って発表しようとしたため、隣の席の方がフォローしてくださり、グループファシリと2人で持ったが、事前に声かけを行い、参加者2人で持っていただくほうがグループみんなの意見だとより感じていただけるかな、と思った。
- ・場に慣れ、参加者の発言を引き出すことができるようになる。
- ・参加人数が多かったこともあり各ワーク時間内に参加者の発言を均等に引き出すことが出来なかった。司会者役にある程度はタイムキーパーを任せつつも、全員が均等に発言機会を与えられるように工夫してみたい。
- ・グループワークを進める時のルールをしっかりと把握し、メンバーが質問した時にしっかりと答えられるようにする。
- ・GWの司会者に任せきりにしてしまったこと。もう少し、多職種参加のメリットを活かす方向修正が必要だった。

#### 【プレゼンター】

- ・ざわめき声グループでは、盛り上がった会場の収拾、会場の意見を拾う部分がうまくいかなかった。次回プレゼンを担当させていただく際には、区切る部分の声掛け、発表を引き出せない場合の対応、ポジティブな意見の引き出し方など、今回の打ち合わせで準備が足りなかった部分を、次回は意識して取り組んでいきたいと考えている。
- ・プレゼンスライドの表現や文章の修正。
- ・参加者人数が多い場合を想定した事前の備え。

・事例提示の情報をどこまでにするのか？の話し合い。

#### 【研修支援】

・プレゼン内容や進め方など、何が大事で、何を改善したらよいのかがまだ考えが及ばない部分が多い為、研修参加を継続し、自分なりの意見を持てるようになりたい。

#### 【事務局】

・3階ロビーに設けた各種案内を、もう少し受付寄りに設置すれば多くの皆さんの目にとまったかもしれない。

### 3. 研修参加者にとってよかったと感じたこと

- ・司会者、発表者がスムーズに決まったためか、参加者の積極的な発言が多かったように感じた。どうしたらカンファレンスに呼ばれるのかと真剣に考えておられた在宅の薬剤師さんがおられた。地域包括ケアシステムの充実のための大切な考えだと思った。その発信を聞いて他の参加者もそのように考えてくれる人が増えてくれるといいと思った。
- ・人数の兼ね合いで自分も他己紹介に参加したが、そこで自分の人となりやを少しでもグループメンバーに知ってもらえたことで、その後のファシリが入りやすかったこと。
- ・和やかな雰囲気色々な意見が出ており、多職種への理解が深まった様子が見られた。名刺交換の場があり、参加者さん同士でコミュニティを拡げておられる様子が見られた。研修終了後、皆さん笑顔で帰っておられた。
- ・看護師さんの参加型の多かったが、和気あいあいとGWに取り組めたこと。
- ・ひまわり薬局 中嶋様が上手に進行してくださり、職種決めも比較的スムーズに行え、困られた方がなさそうだったこと。
- ・研修内容もだが、研修に参加し地域の仲間と顔を合わせる機会が得られたことは、今後の他職種連携を進めていくための大きな一歩となると思われる。
- ・平井さんのプレゼンで、病院と在宅の連携が推進されていることを伝えられたのは良かったと思う。制度を通して説明されるのは説得力があるので。。。
- ・グループワークの振り返りやざわめき声グループを通して、現場での経験・他の参加者の声を実際に聞けるのは、絆研修の良さだと思った。
- ・普段は味わうことのできない他職種役を体験できたこと。
- ・多職種で交流できたこと。
- ・グループ内で活発な意見交換が出来たこと。
- ・同じ職種(看護師)でも、総合病院の外来担当、病棟担当、在宅の訪問看護の方がおられ、異なる領域でそれぞれの意見交換が出来て、とても有意義だったと思う。
- ・他の職種の方の意見や感覚に触れることが出来たと思う。
- ・良い事だらけではないでしょうか。
- ・グループワークを通し、様々な気付が得られたこと。(相互理解、本人・家族への配慮、事前準備の大

切さ、時間管理への意識づけなど)

・グループ人数が多かったので、模擬カンファレンスで多職種連携の意義をより感じ取れたと思う。この職種は分からない…といった声も聞こえましたが、そう言われながらもワークシートを読まれ、役になりきっておられた。

・休憩中や終了後、参加者の皆さんが雑談や名刺交換をされており、集合ならではの和やかな雰囲気だった。

#### 4. 研修参加者にとって良くなかったと感じたこと

・他己紹介のとき、30秒の持ち時間があるが、それよりも早く紹介が終了したときに拍手をすると、まだ紹介が終わっていないグループの声が聞こえなくなってしまったため、音の出ない拍手にしてもらった方が良かったと感じた。

・グループ人数が多かったことで、参加者全員の発言を促すことが難しい場面があった。

・ざわめき後の発表を躊躇されていた。会場全体で共有するには言い辛い内容の話もあったのかなと感じた。

・良くなかったことは無いと思われるが、一部グループメンバーが話し過ぎて他メンバーの発言が少なくなってしまうグループがあったとのこと。

・人数が多かったので、グループワークで発言する時間が短かった様子が伺えたのは気になった。

・添付資料のケアプラン第3表を参考にして、カンファレンス参加者を検討しようとした際、その前にサービス内容の批判から始まり(「通所リハビリの頻度が少ない」「ヘルパーを入れた方が良い」とか)、しばらく続いていたことをやんわり修正出来なかったこと。

・発言の量が参加者によってまちまちとなったが、きっかけさえ有れば、積極的に意見を出される方が多く、そのような方の意見がもっと引き出せたかもしれない。

・全体的に GW が盛り上がり過ぎると、声の小さな方の意見が聞こえづらい。

・参加人数が多かったため、グループワークで発言が少ない方が出てしまうこと。

・参加人数が多く、またマスク着用されていた方も多く、グループワーク時にメンバー間で声が聞こえていたかどうか。(レイアウト上やむを得ないことだが…)

#### 5. 研修までの準備に関する感想

・3回の研修のうち1回は会場、2回目はリモートで参加させてもらいました。会場での参加の方が望ましいが、行けないときのリモートは助かった。当日までのファシリ役割の理解の共有ができありがたかった。

・プレゼン担当の方が皆さんの助言を受けながら本番に向けて修正していく事ができるのも、事前準

備の大切さを感じている。

- ・ステージ上でのスタッフ自己紹介時は、所属先を職種を言うべきかどうか統一したほうが良いかもしれない。
- ・妻:ひばりが車の運転が出来るかどうかの設定(外来通院できるかどうか確認するうえで)
- ・ストーリー設定で記載がないことはグループ毎で自由に設定してカンファレンスをして良い事は事前に伝えておいても良かったかもしれない。
- ・プレゼンターの方々、皆さん本番に向けて発表内容をブラッシュアップされてきておられ、すばらしいと感じた。
- ・本番にはお名前が出ていないので参加者の方々には知っておられないと思いますが、櫻井先生も準備にご尽力されていた。お疲れさまでした。
- ・毎回綿密な打ち合わせを行い、細かな配慮を行うことによりスムーズに研修が進むことを今回も実感した。同じシリーズに参加しても、毎回新しい疑問や改善が出てくるのが本当にすばらしいと感じる。
- ・十分に事前打ち合わせがあったことで、リラックスして参加することができた。
- ・ざわめき声グループのようにやったことがない内容を取り組む際は、今まで以上に多くの場面を想定し準備することが必要だと体験できたのは良かった。
- ・受付簿について、50音順で分かりやすかった。
- ・当日資料がすでにセッティングされており、受付での流れもスムーズだった。ただ、推進室の方々の準備がご負担ではなかったかと感じるところです。
- ・資料をしっかりと熟読し、設定やルールなどについて質問されたときにすばやく正確に返答できるように準備しておく必要性を感じた。
- ・誉め言葉しか出てきません。本当に準備8割でしょうか。8割以上だと思います。
- ・プレゼン練習について、客観的な意見や褒めていただけることで次回のモチベーションに繋がった。当日まで、個人的にプレゼンに苦手意識もあり近著もすごくしたが、同時に変化(成長?)も感じられプレゼンは楽しくできた。ありがとうございました。
- ・研修の流れについて、その都度皆さんで確認し合えたことで当日もスムーズに進行できていたかと思う。
- ・早めの準備で気持ちの余裕や見直す時間を持てる。
- ・打合せを3回行うことで、内容確認や振り返り、改善点など挙げることができ、また初参加のファシリさんも安心感を持って参加いただけたと思う。

## 【研修全体について】

- ・初めてのファシリ役割でしたが、打ち合わせで流れが把握でき、不足していると思うところに関しては事前にノートを読み込むことができたのでリラックスして参加することが出来た。
- ・プレゼン担当者がいつも本番に一番いい出来というのやはり練習の積み重ねだと思う。さすがです。また、推進室の方がいつも準備片付けをしてくださりありがとうございますと言いたい。皆の協力

のもと成り立っている研修だといつも感じている。皆さんお疲れ様です。

・次回以降もこの度の反省を振り返る場面を作りながら、頑張りたいと思う。お疲れ様でした。

・今回新しく追加されたスライドを見て感じたのが、地域包括ケアシステムは2025年までに構築するもの。として定められている。10年前と比較した時、どの辺りがどのように変わったのか。現場で働いている方々がそれを感じられるのはどのような時か。等、鳥取東部の地域医療・福祉の振り返りをする場があっても面白いのかな。と感じた。

・研修準備から本番まで毎回新しい気づきがある。毎回終わった後はグッタリしてしまうが、自分自身のスキルアップにもなり、楽しみながら参加させてもらっている。ありがとうございました。

・プレゼンターの方が本番に仕上げられるのが本当に素晴らしいと思う。私もまだ1度しか経験していないため、(仕事等とのからみもありますが)頑張らないといけないな…と反省した。次回もよろしくお願いいたします。

・医療系の職種の参加がとても多かったが、介護職の参加が少なかったのが残念であった。在宅生活では介護職が関わる部分が多いため、ぜひ参加して頂きたいのだが、どこかハードルが高いと思われる部分があるのか。

・プレゼン・ファシリ共に回数を重ねるごとに良くなってきている気がする。特に打ち合わせが充実してきているので、プレゼンは本番で少々伝える部分を失敗してもグループ内で何とかしてもらえる感じがするので、以前より不安なくプレゼン出来た。

・今回もファシリテーターを務めさせていただきましてありがとうございました。毎回、事前の打ち合わせ含め内容をはじめ様々な考え方やコミュニケーションなど多くのことを学ぶことができとても勉強になっている。

・今回はグループ内に研修支援の方もいない初めての完全ひとりでのファシリテーターでしたが、大きな問題等もなく終わることができ良かった。次回以降も機会があればぜひ参加させて頂ければ幸いです。お疲れ様でした。

・以前からですが、介護施設職員や居宅支援事業所の参加が少ないことが気になります。

・リピーターが多いことも大変嬉しいのですが、新たな参加者はどれくらいおられるのか…と思うところもある。

・自分より経験や知識が豊富な方が多く、質問されても返答に困る場合もあったが、そのような方々が何を意識しているのかを知ることでできる良い機会になった。

・グループメンバー同士のワークの進み方を見ながら、時間の調整を行う等、いくつかのことを同時に行うことが難しく、前もって準備する必要性を感じた。

・1Gの人数をもう少し減らした方が、距離が近く声も届きやすいと思う。しかし、GWの職種(役割)兼ね合いもあるので…難しいですね。

・グループワークでは皆さんが楽しそうに参加されていて本当に良かったと感じている。また次回以降の研修についても、より一層良いものにできたらと思っている。ありがとうございました。

・駐車場は急患受診者数によっては誘導が必要？(できるだけきむら、みなみに駐車してもらう)。

・プレゼンターの皆さんが打合せを重ねるごとにレベルアップされていて、最終打合せ後から当日まで中一日しかなかったのに、さらに良くなっていくことに感激した。相当練習を重ねられたことと思う。ありがとうございました。

- ・付箋に関するフォロー(色のこととか)もありがとうございました。
- ・今回の打合せでも、この時はこうしてみようといったアイデアや意見が出され、毎回より良い研修になっていると思う。
- ・1Gの人数を4人程度にして、模擬カンファレンスの時に2つのグループを合わせる等の工夫をしても良いのではないかと思う。(ファシリテータは2Gに一人)